

2014 年度コレクション展 I

「春の花と佐渡の風景」

会期 平成 26 年 4 月 19 日(土)～6 月 1 日(日)

休館日 4 月 21 日(月)、5 月 7 日(水)・12 日(月)・19 日(月)

桜など春の花を日本画や写真の作品でご紹介します。また、川島小鳥写真展「未来ちゃん」の舞台である佐渡にちなみ、笹岡了一が描いた佐渡島の風景を展示します。

笹岡 了一 1907～1987 (明治 40～昭和 62)

新潟県中蒲原郡金津村 (現・新潟市秋葉区) 生まれ。中国大陸での過酷な従軍体験が戦後の「山西」シリーズや「放蕩息子の帰宅」シリーズに結実する。日展、光風会を中心に作品を発表。1978 年、日展内閣総理大臣賞。1979 年、新潟日報文化賞。本県洋画界の振興にも尽力した。

東松 照明 1930～2012 (昭和 5～平成 24)

名古屋市生まれ。愛知大学卒業後『岩波写真文庫』のスタッフとなる。1956 年フリーに。1958 年、日本写真批評家協会新人賞受賞。1959 年、奈良原一高、細江英公らと写真家集団「VIVO」設立 (1961 年解散)。1961 年、土門拳らと広島・長崎の被爆者・被爆遺構を取材、『hiroshima-nagasaki document 1961』刊行 (第 5 回日本写真批評家協会作家賞)。1974 年、荒木経惟らと「ワークショップ写真学校」開講。1995 年、紫綬褒章受章。

渡辺 信喜 1941～ (昭和 7～)

京都市生まれ。1964 年、京都市立美術大学日本画科卒業、卒業制作大学買上。第 7 回日展初入選。1966 年、山口華楊に師事。1971 年、日展特選。1972 年、日展無鑑査出品。1984 年「横の会」の結成に参加、第 1 回展 (以後 93 年最終展まで)。現在 日展評議員、日春展委員、京都精華大学名誉教授。

【出品リスト】

作者名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
渡辺 信喜	枝垂桜 (*2013 年度新所蔵品)	2012 (平成 24) 年	岩絵具, 麻紙	223.0×179.0
東松 照明	京都・二条城 ヤエベニシダレ	1981 (昭和 56) 年撮影, 1998 (平成 10) 年プリント	カラープリント	72.5×92.5
東松 照明	岐阜・清見村 シダレザクラ	1985 (昭和 60) 年撮影, 1998 (平成 10) 年プリント	カラープリント	81.0×72.3
東松 照明	山梨・長坂町 ソメイヨシノ	1988 (昭和 63) 年撮影, 1998 (平成 10) 年プリント	カラープリント	66.5×98.0
笹岡 了一	杏の村 (安茂里)	1986 (昭和 61)	油彩, キャンバス	45.5×53.0
笹岡 了一	梅の庭 (武州越生)	1950 (昭和 25)	墨・顔料, 紙	30.0×40.0
笹岡 了一	久田村 (寺泊)	1984 (昭和 59)	墨・顔料, 紙	33.8×45.9
笹岡 了一	佐渡尖閣湾 於相川	1985 (昭和 60)	油彩, キャンバス	31.8×40.9
笹岡 了一	外海府 (B) 於入川	1960 (昭和 35)	油彩, キャンバス	45.5×53.0